

第3回 学校評議員会

○日 時 平成24年12月20日(木) 午後6時30分～

○場 所 千早赤阪村立千早小吹台小学校 校長室

○出席者 学校評議員 山本 慶子 ・ 富田 良三 ・ 大橋 清治
校 長 山下 桂滋
教 頭 當麻 裕彦(進行)

○協議された意見の概略

1. 卒業式について

(千早小と小吹台小統合後5年、統合前の児童がいる卒業式としては最後。全校児童が出席して行う。)

- ・ P T A会長の祝辞は堺市ではあったがこのあたりの学校ではないのですね。
- ・ 国歌斉唱では、来賓も含めて全員起立されているのですか。
- ・ こういう儀式的な行事は、従来通り行い、あまりかわったことはしない方がよい。
- ・ 「お別れの言葉」「お祝いの言葉」で子どもが一人と言う台詞もあり、こういう経験は大切に、子どもの自信につながる。

2. 地域に開かれた学校づくりについて

(学校支援地域本部事業 放課後勉強室の取り組み 防災訓練等)

- ・ この取り組みに予算はどれくらいついているのか。
- ・ 予算がつけばこういった取り組みは続くと思うがつかなければ続かないだろう。
- ・ 木工クラブやミシンの授業など地域人材を活用したらよいのではないか。そのためにはコミュニケーションがとれて、教師主導でできるかがポイントである。

3. 学校経営に関する意見交流

- ・ 授業参観したときにサブの先生が子どものそばによりそって指導していることにおどろいた。私たちが子どもの頃にはなかった光景だ。とてもいいと思った。
- ・ 基礎学力の徹底ということで、以前全教員で問題共有して毎日継続して計算や漢字の学習に取り組んだことがあった。このときは成果が上がった。大切なのはこのような教員の問題意識の共有である。校長のリーダーシップで心がけてほしい。
- ・ ホームページの効果は大きいものがある。これからもがんばってほしい。
- ・ 災害時の避難は難しい。むしろ避難完了してからがスタートではないか。子どもが帰宅できないときに子どもをどのように預かって、だれがみるのかなど細かい想定が必要である。
- ・ 学校には備蓄などもない。地域行政とのタイアップが大切ではないか。